

『となりのトトロ』（英題：My Neighbor Totoro）は、スタジオジブリ制作の長編アニメーション映画。宮崎駿監督作品。昭和30年代前半の日本を舞台にしたファンタジー。田舎へ引っ越してきた草壁一家のサツキ・メイ姉妹と、子どもの時にしか会えないと言われる不思議な生き物・トトロとの交流を描く。

制作期間 1987年4月1日～1988年4月1日

キャッチコピー 「このへんな生きものは まだ日本にいます。たぶん。」、純粋な気持ちいつまでも[9]。

監督 脚本 原作 宮崎駿 製作総指揮 徳間康快

出演者 日高のり子、坂本千夏、糸井重里、島本須美、北林谷栄、高木均

音楽 久石譲

主題歌 井上あずみ「となりのトトロ」

撮影 白井久男

ストーリー

昭和30年代前半の初夏（5月[10]）。小学生のサツキと、幼い妹のメイ、父の三人が、入院療養中の母の病院の近くで暮らすため、農村へ引っ越してくる。引っ越し先の古い家を探検していたサツキとメイは、ピンポン球ほどの真っ黒な塊がたくさん住み着いているのを見つける。驚いた二人に対し、引っ越しの手伝いに来ていた隣のおばあちゃんが、それはスワタリというもので、子供にしか見えず、害もなく、人が住み始めるといつのまにかいなくなるのだと教えてくれる。おばあちゃんの孫のカンタがおばけ屋敷と呼んでからかうこの家で三人は新しい生活を始める。

小学校が田植え休みになった日、三人は入院している母の見舞いに行き、新しい家がおばけ屋敷だったと伝える。サツキとメイは母がおばけ嫌いであることを心配していたが、母は少しも怖がらず「自分もおばけに会いたい」と言ってくれる。ほっとした二人は、母が早く退院して一緒に暮らせることを願う。

そんなある日、一人で庭で遊んでいたメイは不思議な生き物を見つける。追いかけていったメイが森の奥で深い穴を転がり落ちると、穴の底にぽっかり開いた空間にずっと大きな生き物が寝ていて、メイが名を尋ねると生き物は何かつぶやくがそれがメイには"トトロ"と答えたように聞こえる。やがてトトロの腹の上で眠ってしまったメイは、いつのまにか林の中で一人で寝ているところをサツキに発見される。メイはサツキと父にもトトロを見せようとするが、トトロがいた場所が見つからない。二人が笑いだしたため腹を立てたメイに対し、父は「トトロはきっとこの森の主で、いつでも会えるわけではないのだ」と優しく諭し、三人で大きなクスノキのある塚森へ向かうと「これからもよろしくお願いします」と引っ越しの挨拶をする。その晩、サツキは母あての手紙にこの時の出来事を書き記し、自分もトトロに会ってみたいと添える。

梅雨の季節となった雨の宵、サツキとメイが森のバス停で父の帰りを待ち、あたりが暗くなると、トトロがやって来て二人の隣にのそりと立つ。ずぶ濡れのトトロを見かねてサツキが父の傘を貸してやると、トトロはお礼に木の実が入った笹の葉の包みを渡し、バスの姿をしたネコ（ネコバス）に乗って行ってしまう。帰宅した二人は木の実を庭にまいたがなかなか芽が出ない。ある満月の夜中、二人が目覚めるとトトロたちが庭を歩き回っている。トトロが祈ると庭土から芽が出てそれがあつという間に巨木へと育つ。トトロは不思議なコマを回すとそれに乗り、サツキとメイを抱いて空を飛ぶ。やがて、クスノキの高枝でトトロたちとサツキ、メイが吹くオカリナの音色が聞こえてくる。翌朝、二人が目覚めると巨木は消えていたが、庭には小さな芽がたくさん出ていた。二人は「夢だけど夢じゃなかった」と大喜びする。

やがて夏休みとなったある日、二人がおばあちゃんと畑で野菜を収穫していると、カンタが「レンラクコウ」という病院からの電報を持って走ってくる。サツキは父と電話で連絡を取り、母が体調を崩してしまったために退院が延びたことを知る。しかし、そのことをメイに伝えると、メイは「いやだいやだ」と駄々をこね、二人は大喧嘩してしまう。だが、家に戻った直後にサツキは堪えきれずおばあちゃんの前で大泣きしてしまう。しっかり者のサツキも、内心は母を失うかもしれない不安と恐怖でいっぱいだったのだ。その様子を見ていたメイは日が暮れる中、トウモロコシを抱いたまま一人でどこかへ向かい、そのまま行方不明となってしまう。村の人々が総出で探し回るがメイはみつからず、途方にくれたサツキは藁にもすがる思いでトトロに助けを求めに森へ行く。トトロはサツキを連れてクスノキのてっぺんに登り、ネコバスを呼び寄せる。サツキを乗せたネコバスは風のように走り、道に迷って泣いていたメイを見つける。メイは母にトウモロコシを届けようとしていたのだった。

すっかり日が暮れた頃、ネコバスが二人を病院に連れて行くと、そこには元気そうに父と話す母の姿があった。母が二人の気配を感じて目を向けると、窓辺にメイが持ってきたトウモロコシが置かれており、その葉には「おかあさんへ」と刻まれていた。

その後、サツキとメイはネコバスで家まで送ってもらい、そこでカンタとおばあちゃんと合流すると、四人仲良く家路を歩く。トトロ達は今夜もクスノキの上で仲良くオカリナを吹いているのだった。